

平成 17 年度

オーストラリア スタディ・ツアー



学校教育課 ☎66♦1165

市内中学校 2 年生 14 人が、平成 17 年 10 月 19 日から、8 泊 9 日の日程でオーストラリアへのスタディ・ツアーを実施しました。

目的地に到着した一行は、思いがけない激しい雨とユウカリ(街路樹)のさわやかな香りの歓迎を受け、異国の春を実感しながら、これからの生活に胸をふくらませました。

ファミリーに感謝!

ワクワクとドキドキで出発したのがつい昨日のように感じるほど、あつという間の 9 日間でした。

最初、私はファミリーの言っていることが理解できなくてガツクリしていたら、夕食の時「これは中国語だよ」と英語で教えてくれました。それからは、英語と中国語での会話が楽しく、すごい早さで時間が過ぎていきました。ちっぽけな私を大きな心で包んでくれたファミリーに感謝。私も大きな心の持ち主になりたいと思います。

(形原中 明石恵実)

不安をたくさん抱えたまま、僕はホストファミリーと対面しました。でも、家族の人達は僕のたどたどしい英語に、熱心に耳を傾け、やさしく受け入れてくれました。また、言葉に詰まった僕を日本語でフォローしてくれました。終わってみれば楽しくて短い 9 日間でした。将来、僕は海外で日本語を教える先生になりたいと考えています。そのときには、今回の体験をいかせたらと思います。

(三谷中 川出唯太)

I had a great time

ホストファミリーは、明るくやさしく、本当の家族のように接してくれ、サーフィンやシヨッピングセンターにも連れて行ってもら

い、一緒に楽しく過ごすことができました。また、言葉が通じなかった時などは、何度も何度も聞いてくれ、ジェスチャーで分かり合えた時は、本当にうれしかったです。このツアーで、言葉が通じなくても、一緒に楽しめる喜びを、僕は感じるようになりました。

(蒲郡中 杉浦 駿)

僕がお世話になったホームステイ先は、兄弟が二人いて、ものすごくおもしろい家族でした。家には広い庭があり、プールもありました。その庭にはレモンの木があつて、そのレモンでクリケットをしました。クリケットはユニークで、僕はもう一度、クリケットをしたいです。あと、お父さんがジャズ演奏者で、僕はその CD を聞いたとき、とても感動しました。

(形原中 酒井暁央)

our communication

僕がスタディ・ツアーで一番印象に残ったことは、休日にホストファミリーのデイビッドや彼の友達らと一緒にいろいろなスポーツを楽しみながら、コミュニケーションをとれたことです。特に、ラクビーでは、キャッチボール程度ができるようになって一

緒に楽しめました。言葉だけではなく、体を使ったコミュニケーションをとることができ、とても感激しました。

(西浦中 吉見隆寿)

言葉が通じると、初めはとても不安に思っていました。そんな気持ちもふつとんでしまうほど、とても楽しく過ごすことができました。それは、体の大きいお父さんが、肩車をして私の気持ちをほぐしてくれたり、また、私がお菓子作りが好きだとわかると、さっそく家族みんなでスコーン作りが始まるなど、ファミリーたちが大変細やかに気をつかってくれたからです。私も国境を越えて、人に優しく思いやりを持って接することができる人になりたいと思いました。

(中部中 河井智泳美)

僕は学校生活が一番印象に残りました。授業中に音楽を聴いたり、隣の席の人としゃべっていたり、とても自由で日本ではありえないと思いました。

ホームステイ先では、家族と積極的に話し、コミュニケーションをとるように心がけました。しかし、返ってくる言葉は、もちろん